

肺がん（Q&A）

質 問	回 答
1 トライボールの効果はあるのですか。	<p>トライボールは術前に行うことによって肺容量の拡張が期待できます。</p> <p>これにより周術期の痰の喀出改善が期待され、無気肺（痰詰まり）を予防することができます。肺気腫や喫煙者の患者さんに術前行ってもらっています。また、心疾患患者さんに対しては慎重な適応が必要です。</p>
2 主人が毎年レントゲン検査で異常なし。 ある病院で、肺のCT検査でガンが見つかった。「たばこの喫煙あり」でCT検査をしていただいたと思った。 私も毎年レントゲンだけの検査をしていただいています。主人の喫煙でCT検査はしなくて大丈夫でしょうか？職場でも、ヘビースモーカーの席の横で、かなりのたばこの煙を吸っていました。	<p>喫煙者は非喫煙者と比べて男性で4.4倍、女性では2.8倍肺がんになりやすく、受動喫煙（周囲に流れるたばこの煙を吸うこと）も肺がんになる危険性を2～3割程度高めるといわれています。CTによる肺がん検診は、日本においては任意型検診として受診者の自由意志により行われています。</p>